冷食タイムス

The Frozen Food Times

2019年（平成31年）　第2182号

3/19【火】　毎週火曜日発行

発行所　水産タイムズ社

（昭和45年7月9日第三種郵便物認可）

東京都港区芝5－9－6　http://www.suisantimes.co.jp

電話（03）3456-1411（代表）FAX（03）3456-1416

日刊速報「冷食タイムス」月～金曜日発行（祝祭日を除く、PDFでメール配信）

選ばれつづける仕事。

日本最大の低温物流ネットワーク

ニチレイロジグループ

www.nichirei-logi.co.jp

春の業界異動

ニチレイがトップ交代

ＪＦＳＡ滝口氏が会長に

春の業界関連人事がほぼ出揃った。6月の定時株主総会を待たず、新年度がスタートする4月から新体制に切り替える企業が増えている。メーカーで大幅刷新するのはニチレイ。社長にニチレイフーズの大櫛顕也社長が就き、ニチレイF社長は竹永雅彦常務。宝幸も社長が交代する。大手卸でも大型異動が相次ぐ。

ニチレイフーズの社長からニチレイの社長に就く大櫛顕也氏はフーズ社長2年という短期間で持株会社社長となる。

ニチレイグループのトップ人事は6年で異動するケースが多い。大谷邦夫氏はニチレイ社長在任6年で会長となる。前任の村井利彰氏もニチレイ社長は6年、会長も6年で交代することになる。

池田泰弘氏もフーズ社長を6年務めて会長になった。今回はニチレイフーズの取締役会長として3年目であり、異動はなく留任。

ニチレイ社長となる大櫛氏は九州大農卒、1965年1月生まれ、88年入社、54歳。フーズの社長に就く竹永氏は東北大農卒、64年9月生まれで大櫛氏と同年齢だが、入社は89年と1年違い、同じく54歳と若い。

業務用卸の全国組織ＪＦＳＡは中核会社サトー商会の佐藤正之会長がトップを務めていたが、滝口良靖同社社長に後任を委ねる。

旭食品の竹内紘常務と竹内慎常務が共に副社長に昇格、竹内信夫副社長と合わせ副社長3人体制となる。

関東食品はトーホーが持株比率を高くし、小林祐一副社長が代表社長に昇格。創業者の深尾秀夫氏は退任し、深尾由美子社長は取締役特別顧問に就く。

日本アクセスの冷食担当部長が交代する。

ＪＦＳＡ滝口氏

ニチレイ大櫛氏

旭食品竹内紘之氏

ニチレイＦ竹永氏

旭食品竹内慎氏

宝幸森元氏

春の役員人事

	氏名	異動前	異動後	日付
味の素	伊藤 雅俊	代表取締役会長	取締役会長	6/下旬
キユーピー	齋藤 謙吾	取締役常務執役タマゴ事業担当（キユーピータマゴ㈱社長兼務）	取締役専務執役タマゴ事業担当（キユーピータマゴ㈱社長兼務）	2月27日
極洋	松尾 達二	取締役大阪支社長	取締役水産冷凍食品部長	4月1日
ニチレイ	村井 利彰	代表取締役会長	取締役（6月退任）	3月31日
	大谷 邦夫	代表取締役社長	代表取締役会長	4月1日
	大櫛 顕也	取締役執役（ニチレイフーズ社長）	代表取締役社長	4月1日
ニチレイフーズ	竹永 雅彦	取締役常務執役家庭用事業部長	代表取締役社長	4月1日
	松尾 哲哉	執役首都圏支社長	執役業務用事業部長	4月1日
	宮川 浩幸	グループリーダー部長	家庭用事業部長兼家庭用営業部長	4月1日
	松田 大資	家庭用商品グループリーダー	家庭用事業部家庭用商品部長	4月1日
	片岡 恵美	北海道支社長	首都圏支社長	4月1日
	桑田 実	広域事業部生協営業部長	関西支社長	4月1日
	大畑 健一	関西支社長	中冷社長	4月1日
日清食品冷凍	吉田 広之	（日清食品米州総代表兼ブラジル日清会長）	代表取締役社長	4月1日
	多部田雄司	代表取締役社長	退任	3月31日
マルハニチロ	竹内 義高	業務用食品部部長役	㈱サングルメ転出	3月31日
	川村 匡介	関東支社長	㈱ヤヨイフーズ転出	3月31日
	前田 尚良	新石巻工場長	ニチロ畜産㈱転出	3月31日
	畑中 正美	市販用冷凍食品部部長役	生産管理部部長役	4月1日
	綿引 建司	家庭用冷食Ｕ　企画担当副部長	市販用冷凍食品部長	4月1日
	溝口 真人	業務用食品Ｕ　ＣＶＳ統括部長	業務用食品部長	4月1日
	濱崎日出男	メディケア営業副部長兼課長	メディケア営業部長	4月1日
	東 正美	中四国支社長兼食品営業部長	関西支社長兼戦略販売部長	4月1日
	半澤 貞彦	執役家庭用加工食品ユニット長	常務執役家庭用冷凍食品ユニット長	4月1日
	石黒 裕之	執役市販用冷凍食品部長	執役関東支社長	4月1日
	田島 正人	取締役専務家庭用冷食U長	顧問	4月1日
ヤヨイサンフーズ	栗田 晋吾	中部支店長	執役営業本部長	4月1日
	横山 亮	専務取締役	辞任	3月31日
宝幸	森元 辰己	取締役執行役員監査室環境品質保証室管掌、管理本部長兼経営企画部長	代表取締役社長	4月1日
ＪＦＳＡ（日本外食流通S協会）	佐藤 正之	会長（サトー商会会長）	相談役（サトー商会会長）	4月19日
	滝口 良靖	副会長（サトー商会社長）	会長（サトー商会社長）	4月19日
	相馬 彰	事業委員長（㈱ジェフサ常務）	（㈱ジェフサ常務）	4月19日
	梶田 雅仁	（サトー商会専務）	事業委員長（サトー商会専務）	4月19日
旭食品	竹内 紘之	常務取締役	代表取締役副社長（生産•関西）	4月1日
	竹内 慎	常務取締役	取締役副社長（海外•新事業•関東）	4月1日
	竹内 成雄	代表取締役副会長	代表取締役会長	4月1日
関東食品	深尾 秀夫	代表取締役会長	辞任	3月
	深尾由美子	代表取締役社長	取締役特別顧問	3月
	小林 祐一	取締役副社長	代表取締役社長	3月
国分	土井 弘光	経営統括副本部長（低温フレッシュ•フードサービス管掌）兼日本営業統括兼国分首都圏㈱会長	低温フレッシュ•フードサービス管掌を解く	3月29日
	山﨑 佳介	取締役執役経営統括副本部長兼低温フレッシュ•フードサービス統括部長兼低温フレッシュ担当部長兼国分フードクリエイト㈱社長	取締役常務執役、低温フレッシュ•フードサービス統括部長兼務を解く、低温フレッシュ統括部長を兼務	3月29日
日本アクセス	玉田 功	フローズン食品ＭＤ部長	姫路支店長	4月1日
	渕之上明生	静岡支店長	フローズン食品ＭＤ部長	4月1日
名給	青木 昌博	取締役（元社長）	退任（最高顧問に）	1月29日
ユアサ•フナショク	諸澤 隆芳	代表取締役社長	代表取締役会長	4月1日
	山田 共之	常務食品本部長兼商品部長	代表取締役社長	4月1日

冷食セミナー参加者募集中

トップインタビュー

CVS向けに提案力を発揮

剣立ちの衣にこだわり

キンセイ食品㈱

代表取締役社長

加藤 貴司 氏

（かとう・たかし）1973年横浜生まれ。子供の頃から家業を手伝い、高校卒業後に食品問屋を経て入社。長年生産現場を統括。設備機器に自ら改良を加え商品の差別化を図る。2017年社長就任。45歳。

冷凍畜肉加工のキンセイ食品（横浜市）は山梨県内の基幹工場を2年前に拡張した。今年は設備投資を行い、さらなる品質向上に取り組んでいる。

――冷凍とんかつやメンチカツが主力商品だ。

加藤　1973年の創業以来、一貫して作り続けている専門メーカーです。生肉の衣付けまで手がけ、加熱調理はしません。量販店やCVSの弁当と惣菜、食品メーカーのPB用が売上げの柱です。

――業績はどうか。

加藤　毎年、数億円規模の増加で堅調に推移してきましたが、今7月期は設備の入替えで上野原工場（山梨県上野原市）が1カ月半稼働を停止した影響があり、前年並みで着地見込み。ただ、来期は50億円を超えるとみています。

――受注を伸ばしている背景は？

加藤　メニュー提案が結果に結びついており、あるCVSでは年間1千万個を売る看板商品もあります。この営業提案力を強化するため、当社初の営業所を横浜市内に昨年立ち上げました。

――生産体制も拡充している。

加藤　生産拠点は本社工場、中里工場（横浜市）の他、上野原工場（敷地4300平方㍍）があります。2010年に設立し、2年前に拡張（同400平方㍍）しました。今年設備投資した急速冷凍機はツインタワー型のスパイラルフリーザー。1時間あたり2万個の凍結能力を持ち、生産性向上と労働時間短縮につなげています。

フリーザーは特注品で、冷凍効率や風量を計算し、弱い風でも短時間でしっかり凍結できる構造です。これは表面の柔らかい衣を極力落ちないようにするため。通常は落としてから冷凍しますが、「無駄なパン粉」をあえて残した状態で提供したかったのです。

――揚げた時に衣が立ち、見た目や食感が良さそう。こうした品質改良の取り組みが強みだ。

加藤　厳選した原料を指定工場から仕入れ、顧客の商品スペック（規格）に合わせて作ることはもちろん、街のとんかつ屋が作るようなあえて形が不揃いな商品を提案したり、肉厚でも揚げる時間を短くできる商品を開発したりと、手を加えられる領域は多い。

当社のような専門メーカーは減少していますが、工夫次第で市場が伸びる余地は十分あります。

――今後の目標は？

加藤　上野原工場の隣接地を確保しており、ハンバーグなど加熱品の専用工場に充てたいと考えています。商品アイテムを広げ、売上げ100億円規模に拡大することが目標です。

日本ハム冷凍食品

"ご褒美PIZZA"の「バゲットピッツァ」好評

日本ハム冷凍食品が今春発売した"ご褒美PIZZA"シリーズが好調に市場へ浸透している。「4種チーズとベーコンのバゲットピッツァ」と「5種チーズとベーコンのハーフピッツァ」の2品を販売しているが、「どちらかと言えばバゲットの方が高評価を得ている」（同社）という。

"ご褒美PIZZA"シリーズは、食べたい時に・食べたい分だけ楽しめる『おつまみスナック』というコンセプト。主婦のお独りランチ、学校帰りの子供のおやつ、夕食のパスタに添えて、アレンジを加えて家飲みの乾杯メニューなど様々な食シーンに提案している。

バゲットピッツァは、ガーリックソースを塗ったバゲット（皮が固いフランスパンのひとつ）に、4種のチーズ（ゴーダ・エダム・モッツァレラ・パルメザン）とベーコンをトッピング。1個（約20㌘）ずつ個包装しており、必要分だけ取り出してオーブントースターで焼くだけ。4個80㌘。グループ会社の日本ハム食品㈱関西プラントで製造する。

ハーフピッツァは、5種のチーズ（エダム・モッツァレラ・レッドチェダー・クリーム・パルメザン）とベーコンをトッピング。ハーフサイズのピザを食べやすく3等分にカットしてある。105㌘。オーブントースターか電子レンジ調理。製造はグループ会社の日本ハム㈱諫早プラント。

両品とも、黒を基調としたパッケージに、ワイングラスを添えて、洋風イメージを強調している。同社では「おつまみコーナーに映える洋風スナックとして、認知が上昇している」としている。

「4種チーズとベーコンのバゲットピッツァ」

今週の一枚

女性目線でアイテム紹介

久世は展示会で4K1J（効率簡便、高付加価値、高齢化、健康、女性目線）を切り口に提案を行った（関連記事6面）

目次

ピカール、神奈川1号店開業…………2

☆日本水産、おにぎりでキャンペーン…3

☆旭食品、近畿の売上げ2％増…………4

☆久世、「目下の課題は物流」……………5

解凍乱麻

4月から働き方改革関連法が順次施行される。最近は企業の同法への取り組みが本気度を増したように感じる。ただ、働き方改革といっても実に多様なので、何を優先重視するかを決めてかからないと各論で実効性が上がらないという羽目になる▼たとえば残業の抑制。これまでも行政指導があったが、これからは上限規制を設け、違反者には罰則もあり得る。有給休暇の義務化、そして同一労働同一賃金制度も必須となる。企業は対応に苦慮しながらも「時代の趨勢」と認識し、必死で対応を図っている▼一番の苦労は、昨今の人手不足という状況の中で労働時間の短縮を図らなければならないということ。あふれた仕事を賄う人手が足りない。例えば、1日9時間働いていたのを8時間にすると10人で10時間分の仕事があふれる。つまり人を1人補充しないと回らなくなる計算だ▼労働時間を減らして実績を落とさないためにどうすべきか。各社、試行錯誤しつつ格闘しているところだ。IT化を進めることで業務の合理化をはかる、あるいはアウトソーシングにより省力化をめざすという企業も少なくない▼一番現実的なのは社員のスキルアップをしつつ"多能工"化を進めることだろう。1人が抜けても周辺の人がサポートできる体制を作る。いずれにせよ「働き方改革元年」。新・年号を機に業務改革も必至である。

～水産タイムズ社～

第47回春季冷食セミナー

総合テーマ『激動期の成長戦略を探る』

聴講料1人3万5640円（税込、2日目昼食付）　会場：石垣記念ホール（東京都港区赤坂1－9－13 三会堂ビル9階）

春季冷食セミナーは弊社WEBサイト（http://www.suisantimes.co.jp）からお申し込みいただけます。

4月9日（火）

13時～13時20分：開講挨拶

一般社団法人日本冷凍食品協会　会長　伊藤　滋　氏

㈱水産タイムズ社　代表取締役社長　佐藤　巳喜夫

13時25分～14時05分

基調講演「食品行政の取り組みと課題」

農林水産省 食料産業局長　新井ゆたか　氏

14時15分～15時25分

「環境と人にやさしい企業をめざすキユーソー流通システムの働き方改革！」

㈱キユーソー流通システム　代表取締役社長　西尾　秀明　氏

15時35分～17時

パネルディスカッション①「冷食業界の全体成長策の大前提」

㈱ニチレイフーズ家庭用商品部　奥村剛飛マーケティングチームリーダー

日本水産㈱家庭用食品部　熊谷賢一冷凍食品課長

テーブルマーク㈱東京支社家庭用販売部　歳森宗一郎課長代理

トモナス㈱　芝尾昭治社長（元ダイエー、元イオン冷食バイヤー）

4月10日（水）

9時～10時

「人形町今半の歴史、おもてなし、インバウンド対応について」

㈱人形町今半　代表取締役社長　高岡　慎一郎　氏

（一般社団法人日本フードサービス協会会長）

10時05分～11時

「冷凍食品の市場拡大のために」

味の素冷凍食品㈱　常務執行役員国内事業統括部長　下保　寛　氏

11時10分～12時

「輸出するのはサッポロラーメン文化～本物を世界に」

西山製麺㈱ 代表取締役社長　西山　隆司　氏

13時～14時10分

「冷凍食品産業の将来性と課題」

オフィスK　代表　中野　勘治　氏

14時15分～15時30分

「食品販売におけるドラッグストアの使命について」

ウエルシア薬局㈱　営業統括本部営業企画部長　内田　悦郎　氏

15時40分～17時

パネルディスカッション②「在宅介護シフトに伴い今後めざすべき高齢者食など～」

日清医療食品㈱　中村佐多子営業本部長付部長

ヨシケイ開発㈱東京本部　池田沙織取締役本部長

日東ベスト㈱　内田真帆子取締役健康事業部長

マルハニチロ㈱関東支社　平林桂子メディケアチームリーダー